

# 未来へ共に歩める村づくり

## 1

### 互助精神の醸成

#### 現状と課題

本村ではこれまで、「かて〜り」の精神に基づき、村民同士がお互いを支え合い、助け合いながら村づくりを行ってきました。この精神は今でも深く根付いており、過去には台風の災害時に、避難時の助け合いや、被災家屋・道路等の仮復旧など、行政のみの取り組みでは相当な時間を要したものを、地域が一体となって復旧活動に取り組んだ結果、迅速なライフラインの復旧につながりました。

村民同士の支え合い、助け合いの場である集落に対しては、各種助成金の交付を通じた区（公民館）活動への支援や備品・施設の整備、サポーターシステム※1による広報・広聴活動などに取り組んでいます。しかし、今後、さらなる人口減少や高齢化が進行し、地域力の低下が予測される中では、これらの取り組みをより一層充実させる必要があります。また、集落の中には高齢化率が50%を超えるところもあり、後は集落機能そのものの維持が困難になることが予測されるため、それらに関する対応を検討していくことや、地理的な条件により買い物が困難な集落への対応、村内外における地区住民との交流を通じた地域の活性化など、あらゆる面から集落を支援していくことが重要です。

また、産業や地域活動、各家庭などあらゆる場における共通の課題として後継者不足があげられます。その対策のひとつとして、経営基盤整備に要する資金等の借り入れに対する利子補給や、「お嫁さんいらっしやい推進協議会」を中心とした結婚の促進に取り組んできましたが、依然として若者は減少しており、加えて独身者も多いことから少子化も進行しています。今後、村の活力を保持増進させるためには、村出身者の帰郷だけではなく、村外から新たに人を呼び込んでいかなければなりません。そのためにも、後はU・Iターン※2を促進するための体制を整備するとともに、結婚の促進に関しても一分野として捉えるのではなく、村の活性化につながる重要な取り組みとして、世代や分野を問わず全村民で知恵を出し、協力しながら取り組んでいく必要があります。

#### 基本方針

きめ細かな集落支援や村をあげた結婚対策、定住・移住の促進に取り組むことで、「かて〜り」の精神の継承及び醸成と、村の活性化を図ります。

※1 サポーターシステム:地域と連携した村づくりを進めていくため、各公民館に担当職員を配置し、広報・広聴活動を充実させること。

※2 U・Iターン:Uターンとは、都会に出たあと出身地に戻る。Iターンとは、出身地に関わらず、住みたい地域を選択し移り住むこと。

## 施策の体系

互助精神の醸成

① 集落支援の充実

② 後継者対策

## 施策

### ① 集落支援の充実

- 地区計画に基づき、各地区の活動支援に取り組みます。
- 国・県等の事業及び各種助成により、区（公民館）活動の支援や備品及び公民館施設の整備などに取り組み、区（公民館）活動の充実を図ります。
- サポーターシステム等の充実により、行政情報の提供や広聴活動、集落機能の維持に向けた支援体制の強化を図ります。
- 村内における地域間の交流や県事業を活用した村外との交流等を促進し、地域活動の活性化及び集落の活力の維持増進に努めます。
- 食料や日用品の購入が不便な環境にある集落などに対し、環境改善に向けた体制等を検討し、関係機関と連携のもと、村民の買い物支援に取り組みます。

### ② 後継者対策

- 「お嫁さんいらっしやい推進協議会」を中心として、結婚や若者定住につながる交流会及びイベント等の充実を図り、独身者の結婚対策を強化します。また、地域における結婚への支援体制及び支援を行う人材の育成を図ります。
- 資金の借り入れ等にかかる利子補給などの経済的負担軽減を図り、空き家などの移住・定住に関する情報提供体制を確立するなど、村外からの定住・移住、U・Iターン等の促進を図ります。